

事業報告書

とやま未来創造ミーティング 2023

主催：富山市・公益社団法人富山青年会議所

【作成】

公益社団法人富山青年会議所
まちづくりプラットフォーム委員会

2023 年 11 月

I 事業概要

1. 本報告書の位置づけ

本報告書は、公益社団法人富山青年会議所（以下、JCI 富山）と富山市が共催で実施した「とやま未来創造ミーティング 2023」における参加者の討議結果を報告書としてまとめ、改めて参画意識を高めていただければと思い作成しました。この報告書を見て市民の皆様が、とやまのまちづくりに積極的に参加しようと思っただけの機会になることを願います。

2. 「とやま未来創造ミーティング 2023」開催に至る経緯

とやまにはまちづくりに関わる手段や機会は行政・まちづくり団体の活動を中心に数多くありますが、まちづくりは地域に住み暮らす市民一人ひとりが創るものであり、より多くの市民がまちづくりに参画していくことが重要です。それらを踏まえ、私たち JCI 富山と富山市が連携をとり、市民がまちづくりについて考え、互いの意見を交換する機会が必要と考え、この「とやま未来創造ミーティング 2023」を開催いたしました。この機会を通じて、市民のまちづくりへの参画意識が高まることで、まちづくりに関心が深まり、まちのために行動する市民が増えることで、市民の意見や考えが地域に影響を与えます。このミーティングは、市民の声を行政の施策に反映するための手段として開催に至りました。

3. 「とやま未来創造ミーティング 2023」開催概要

2023 年 11 月 3 日（金・祝） 9:00～12:00（受付時間 8:30）

一般参加者 44 名

【実施場所・会場名】Cafe 小馬キラリ店

【住所】富山県富山市西町 5-1 TOYAMA キラリ内

【参加者抽出方法】

住民基本台帳から 18 歳から 70 歳未満の計 2,000 名を無作為抽出し、チラシ・開催案内状を送付の上、参加を依頼しました。Google アンケートにて参加・不参加・オブザーブ参加の意思を確認し、参加者を決定しました。

【講師】



企画管理部広報課シティプロモーション推進係
係長 浅野 哲平様

富山市より企画管理部広報課シティプロモーション推進係の浅野係長お越しいただき、討議 1 と討議 2 の間に、富山市が実施しているシティプロモーション及びシビックプライドの醸成について講演を行なっていただきました。討議 2 を実施するにあたり、住み暮らすこの地域の現状や、これまでどのような取り組みが行われてきたかを知っていただくことで、より深い討議を実施することができました。

今回及び過去の当日参加者数等実績一覧

年度	2023	割合（％）	割合（％） 【絶対評価】
参加定員数	50		
案内発送数	2000		
返信数	293	14.65	14.65
参加希望表明者数	50	17.06	2.50
オブザーブ希望表明者数	3	1.02	0.15
不参加表明者数	239	81.57	11.95
不参加表明数 【絶対数】	1950		97.50
当日参加者数	44	15.02	2.20
当日見学者数	2	0.68	0.10

年度	2022	割合（％）	割合（％） 【絶対評価】
参加定員数	40		
案内発送数	2000		
返信数	403	20.15	20.15
参加希望表明者数	71	17.62	3.55
オブザーブ希望表明者数	8	1.99	0.40
不参加表明者数	332	82.38	16.60
不参加表明数 【絶対数】	1597		79.85
当日参加者数	40	9.93	2.00
当日見学者数	3	0.74	0.15

年度	2020	割合（％）	割合（％） 【絶対評価】
参加定員数	80		
案内発送数	2400		
返信数	523	21.79	21.79
参加希望表明者数	118	22.56	4.92
オブザーブ希望表明者数	5	0.96	0.21
不参加表明者数	400	76.48	16.67
不参加表明数 【絶対数】	1877		78.21
当日参加者数	78	14.91	3.25
当日見学者数	2	0.38	0.08

2023年参加希望者内訳

計	合計	男	女
10代	5	2	3
20代	18	7	11
30代	10	3	7
40代	8	5	3
50代	4	1	3
60代	5	5	0
総計	50	23	27

参加者確定から当日までのキャンセル人数	13
補填人数	7

2022年参加希望者内訳

計	合計	男	女
10代	9	4	5
20代	16	8	8
30代	16	6	10
40代	9	7	2
50代	7	2	5
60代	11	7	4
総計	68	34	34

2020年参加希望者内訳

計	合計	男	女
10代	14	7	7
20代	33	15	18
30代	21	8	13
40代	11	5	6
50代	18	9	9
60代	21	12	9
総計	118	56	62

オブザーブ参加 2 名

報告動画



Ⅱ 討議結果

テーマ：「とやまの価値を再発見しよう！」

議題 1) あなたにとってのとやまだけがもつ魅力とは？

議題 2) とやまの魅力を市民に PR するには？

■ 討議において達成された点と達成されなかった点

< 目的達成した点 >

アンケートの結果、とやま未来創造ミーティング 2023 に参加して「まちづくりに対する意識が変わりましたか？(高まりましたか?)」という問いに対して、「変わった」と答えた方は 23 名、「少し変わった」と答えた方は 19 名であり、回答者 44 名中 42 名からまちづくりに対する意識が高まったとの回答をいただきました。また、いろんな職業・世代の方々のご意見を聞く機会となりとても有意義だった、もっと富山の魅力を発信していきたいなど前向きな意見もいただき、42 名の方にこれからも「まちづくり」に参加していこうという気持ちになったと答えていただいたことから、多くの参加者にまちづくりについて参画意識を高めていただくことができたと考えます。

< 目的達成しなかった点 >

討議会に参加して、これからも「まちづくり」に参加していこうという気持ちになりましたか？というアンケートに対して「とてもなった」「なった」が多数を占める中、「どちらともいえない」が 2 名おられたこと、また討議テーマに興味を持てなかったと答えられた方も 2 名おられ、すべての方の参画意欲向上には至りませんでした。

討議テーマ	とやまの価値を再発見しよう！	
グループ(1)	グループ名	ホタルイカ
付箋貼り付けスペース〔議題Ⅰ〕 「あなたにとってのとやまだけがもつ魅力とは？」 ・【歴史】薬、曳山祭り、伝統の唄、道がきれい、方言が良い、秘湯がある、無形文化遺産の祭りがある ・【文化】おわら風の盆がある、ししまいがある ガラス美術工芸がある、LRTや市内電車がある ・【食】寿司(魚)がおいしい、郷土料理がある ・【美】立山連峰、夕日がきれい、広い公園がある、海と山が近い ・【人】愛に恵まれている、親切である ※博物館が無い	議題Ⅰ-まとめ 歴史…薬、道、岩瀬、唄、祭り、方言、秘湯 食……海の幸、寿司、郷土料理 文化…ガラス、市内電車、獅子舞、祭り 美……立山連峰、夕日、広い公園 海と山が近い 人がやさしい	
付箋貼り付けスペース〔議題Ⅱ〕 「とやまの魅力を市民にPRするには？」 ・一流の田舎を目指す ・文化人を連れてきて永住させる ・体験型施設を作る(かまぼこ、ガラス、ます寿司) ・市民のツアーガイド(資格の発行) ・機能をもったSNS等のアカウントを作る ・ターゲット層に合わせたSNSの使い分け (TikTok,Facebook、Instagram,X等)	議題Ⅱ-まとめ ・市民のツアーガイドの認定資格の発行 ・博物館や体験型複合施設を作る ・ターゲット層に合わせたSNS	
まとめ ・市民のツアーガイド認定資格発行制度で魅力をアウトプットする。 ・体験型複合施設を作る(一流の田舎) ・市のホームページの活用⇔SNSの相互的につなぐ情報発信: 情報発信のプラットフォームを作る。		
投票		
32票		

討議テーマ	とやまの価値を再発見しよう！	
グループ(2)	グループ名	チーム呉東(四捨五入)
付箋貼り付けスペース〔議題Ⅰ〕 「あなたにとってのとやまだけがもつ魅力とは？」 ・海と山が近い・山や川がキレイ・水がおいしい ・空が広い・身近に深海を感じられる ・製菓を基盤とした産業が多い ・7つの市町村がいろいろな個性がある ・美術館や文化施設が多い ・おわら、こきりこ、獅子舞などの伝統文化が多い ・路面電車がかわいい、便利 ・ウィンタースポーツが手軽に楽しめる ・市電での移動が楽 ・富山弁が面白い		議題Ⅰ-まとめ ・市電がかわいくて便利 ・海と山が近くてきれい ・富山がもつ伝統・文化 (おわら・こきりこ・獅子舞・富山弁・ガラス・ます寿司・立山信仰)
付箋貼り付けスペース〔議題Ⅱ〕 「とやまの魅力を市民にPRするには？」 ・国内、海外の富山県以外へ行く ・小中高校や大学と協力し、配りものや、ポスター設置をする ・若者、高齢者向けのツアー(富山名所めぐり) ・学生向けの旅行割引を実施し、SNSでPR ・街中の看板や市電広告 ・横断幕の設置やグランドプラザ画面でのPR ・新幹線看板 ・立山などの自然観光名所のPR		議題Ⅱ-まとめ ・市民から市民へインスタ、Xでの写真投稿 ・子供、学生向けのPRとしくみ作り ・公共の場での情報発信
まとめ 「行った・見た・よかった」 富山のもつ魅力に親しみやすいような仕組み作り・PRを行い、実際に行ってもらって、情報を発信することを通して、富山の価値を再発見してもらう！ ツアー企画や公共の場や学校でポスター、チラシ配布をし、インスタやXでの写真投稿		
投票 18票		

討議テーマ	とやまの価値を再発見しよう！	
グループ(3)	グループ名	ダイバーシティ・オブ・とやま
付箋貼り付けスペース〔議題Ⅰ〕 「あなたにとってのとやまだけがもつ魅力とは？」 ・路面電車のネットワーク ・コンパクトシティと大都市へのアクセスのしやすさ ・水・食べ物・空気などが美味しい ・まじめな人や人柄の良い人が多い ・子供から年配者まで老若男女が住んでいる ・まちなかを盛り上げようとしている人が多い	議題Ⅰ-まとめ ・自然と街のバランスがよい ・とやま愛が強い人が多い ・富山の人は真面目であたたかい ・食べ物が多い ・災害が少ない ・人のつながりが強い	
付箋貼り付けスペース〔議題Ⅱ〕 「とやまの魅力を市民にPRするには？」 ・SNSで発信 ・高校や大学との連携 ・都心との比較をして住みやすさのアピール ・給食などでとやま産品を食べてもらい知ってもらう ・このような会をたくさん行う ・マルシェのようなとやま産地物の販売などを定期的に する	議題Ⅱ-まとめ ・若者がフォローしているアカウントと コラボする ・様々な世代の人が話し合えるようなコ ミュニティをつくる ・学校と連携をして課外授業などでとやま の施設などを積極的に使用してもらう	
まとめ とやまの魅力発信が一方通行になりがちなので双方向で見る必要がある。 例えばイベントがあることを知らなかった、知ってれば行きたかったという人 も多いことから若い世代に知ってもらうにはSNSを活用して知名度の高いイ ンフルエンサーなどとコラボしたPRをする。また、子育て世代や女性にやさし いまちづくりをすることで、とやまが活性化すると考えられる。		
投票 		

討議テーマ		とやまの価値を再発見しよう！	
グループ(4)		グループ名	17(セブンティーン)
付箋貼り付けスペース〔議題Ⅰ〕 「あなたにとってのとやまだけがもつ魅力とは？」 ・自然が豊か・海と山が近い・空気がきれい ・四季が楽しめる・災害が少ない ・食が良い・海の幸が豊富・水がおいしい ・コンパクトシティ・交通のアクセスが良い ・路面電車が便利・東京に行きやすい ・全国的にも有名な進学校ある・教育熱心 ・地場産が活発・モノづくりが盛ん ・道がきれい ・夏も冬も楽しめる ・祭が多い		議題Ⅰ-まとめ ・自然・食・産業 ・交通・生活環境 ・祭・教育 ・自然が豊かな富山県において、海も山も近く食の面でも全国に誇れるものがたくさんある。また、富山はコンパクトシティを推進しており路面電車の文化も栄えていることから交通の面では整備されている。そして、災害の少ない県であることから、生活環境も申し分がない。	
付箋貼り付けスペース〔議題Ⅱ〕 「とやまの魅力を市民にPRするには？」 ・インスタやグーグル広告などSNSで発信する。 ・新聞の見開き広告などを活用する。 ・イベントの開催 ・魅力を体験できる催しを開催する。 ・富山駅をラッピングする。 ・県内のお店を知り尽くす。 ・年代や性別に分けた発信をする。		議題Ⅱ-まとめ ・SNS ・広告 ・イベント ・富山の魅力を市民にPRするためには、年代や性別に分けた発信をし、偏りをなくす必要がある。また、総曲輪の商店街を利用し、新たな賑わいを創出することで人が集まる場所を作り、富山の魅力を発信する場所を作ることで人が集まり、活性化し、魅力を継続的に発信できれば自然とPRにつながる。	
まとめ ・自然と伝統文化を兼ね備えたコンパクトシティ富山を広く発信していくためにも、総曲輪大改革を行い、賑わいを創出することで幅広い年代に魅力を発信していく。 人が集まる→活性化→継続→魅力発信 のループを作る。			
投票			
41票			

討議テーマ	とやまの価値を再発見しよう！	
グループ(5)	グループ名	豚汁
付箋貼り付けスペース〔議題Ⅰ〕 「あなたにとってのとやまだけがもつ魅力とは？」 ・立山連峰がきれい。 ・魚と米と水がおいしい。 ・ますのすしがおいしい。 ・料理がおいしい。 ・日本の中心に位置している。 ・まちがきれいに整備されている。 ・冬の五箇山。 ・祭りが多い。 ・優しい、思いやりがある。 ・見えない歴史が面白い。		議題Ⅰ-まとめ ・立山連峰がきれいなだけでなく、そこから得られる自然の恩恵も大きい。 ・空港から富山駅までほぼ道が一本で行ける上に、市内も整備されていてとても住みやすい。
付箋貼り付けスペース〔議題Ⅱ〕 「とやまの魅力を市民にPRするには？」 ・富山市民のミーハー心をくすぐるイベントを行う。 ・富山の魅力に気付いている人に話をしてもらう。 ・年代に合ったプロモーションをする。 ・各年齢層向けのイベントを行う。 ・CMで定期的に富山の魅力を流す。 ・テレビ、スマホ、ラジオでのCM。 ・新聞に載せる。 ・チラシを配る。 ・SNSでの発信。 ・人の集まる場所でPRする。 ・学校へのPR事業 ・富山の外から来た人に魅力を発信してもらう。		議題Ⅱ-まとめ ・小さいころから富山の魅力を伝えるために学校でのPR事業を行う。 ・年代に合ったプロモーションを行う。 ・富山市民の性質を利用したプロモーションを行う。(富山市民は新しいもの好きだと考えたため)
まとめ ①立山連峰から富山平野への地形からもたらされる食・まちがきれいに整備されている(景観・住みやすさ)ところが富山の魅力である。 ②小さいころから「富山は何もない」と聞かされていた方も多いのでは？⇒子供のころから富山の魅力を見つけるきっかけ作りとして、授業や授業参観で取り上げる。 ③新しいもの好きな性質を利用してイベントを行う。また、他県の人に富山の魅力を発信してもらう。(他県の方は、普通に生活している富山市民では気付かない魅力に気付いているかもしれない。)		
投票		
31票		

討議テーマ	とやまの価値を再発見しよう！	
グループ(6)	グループ名	Fil
付箋貼り付けスペース〔議題Ⅰ〕 「あなたにとってのとやまだけがもつ魅力とは？」 ・雪の大谷、立山連峰 ・海の幸が豊富 ・自然災害が少ない ・ライトレールの取り組み ・地域の人との関りが盛ん ・コンパクトシティー		議題Ⅰ-まとめ ・過ごしやすさ ・住みやすさ ・自然の豊かさ ・災害が少ない
付箋貼り付けスペース〔議題Ⅱ〕 「とやまの魅力を市民にPRするには？」 ・子育て支援の充実 ・Uターンする若者の働く場所 ・駅を明るくする、足元に広告等 ・インフルエンサーの活用 ・他県との比較をする ・県民全員が周知できるシンボル ・グランドプラザのグルメの発信		議題Ⅱ-まとめ 富山市民が他県へ行き、 富山の魅力を再確認する
まとめ 富山市民が魅力を理解出来ていない。 まず、富山市民が他県へ行き富山の魅力を再確認すべき。 そして、富山市は、その受け皿を作る必要がある。		
投票		
39票		

討議テーマ	とやまの価値を再発見しよう！	
グループ(7)	グループ名	鉄腕アトム
付箋貼り付けスペース〔議題Ⅰ〕 「あなたにとってのとやまだけがもつ魅力とは？」 ・人が優しい/ほとんどが知り合い ・スーパーの魚がおいしい/ご飯屋さんが美味しい ・子育てがしやすい ・観光客が少なく治安が良い ・公園が広い ・県内の移動が楽/コンパクトシティ ・自然が豊か/山、川が綺麗	議題Ⅰ-まとめ 食べ物がおいしい 暮らしやすい、子育てしやすい 自然が豊か	
付箋貼り付けスペース〔議題Ⅱ〕 「とやまの魅力を市民にPRするには？」 ゆるキャラ/もえキャラを作る 着ぐるみをつくる/テーマソング作成 SNSで富山の仕事を発信する 駅前の活用 移住者、Uターン者との交流 潜在的思い込みの脱却 桜木町の拡大	議題Ⅱ-まとめ 公共のバスを使った観光ツアー キャラクターの有効活用 若年層へのPR 回覧板の利用 駅前の活用 Uターン者との交流 桜木町の拡大 アンコンシャスバイアスの認知	
まとめ Uターン者・移住者からの意見を積極的に収集及び発信する 県民の「なにもない」という思い込みをなくす		
投票 10票		

討議テーマ	とやまの価値を再発見しよう！	
グループ(8)	グループ名	はっぴータウン
付箋貼り付けスペース〔議題Ⅰ〕 「あなたにとってのとやまだけがもつ魅力とは？」 食べ物美味しい 植物園きれい 祖父母と孫との施設充実 温泉多い 国宝の寺 まだまだ知られていない魅力的な場所がある	議題Ⅰ-まとめ 環水公園美しい、世界一 地震一番少ない 白エビ ますのすし 立山連峰の景色 立山連峰の歩きやすさ	
付箋貼り付けスペース〔議題Ⅱ〕 「とやまの魅力を市民にPRするには？」 県外の方から魅力を聞く Tシャツやタオルなどオリジナルを作る お年寄りと若者の交流 独り身でも安心して過ごせる様にする イベント開催 SNSを活用 インフルエンサーとコラボ	議題Ⅱ-まとめ 紙で伝える 公共電波で伝える デジタルで伝える トラックやバスのボディで広告 Tシャツやタオルに広告 県外から富山の魅力を伝えてもらう 高齢者と若者が交流できる仕組み 独り身でも寂しくない 参加型イベントが豊富 富山市として魅力発信方法を学ぶ機会 車の免許補助制度	
まとめ 富山の将来のためには富山で住みたいと思う人達を増やす必要がある その為に富山の魅力を発信する必要がある。 例えば、全国世界に誇れる自然や食、景観などや人との関わりがあること 市民が知り主体性を持って、広める必要がある 「富山の魅力を知る」+「伝え方や広め方を1人1人が知って実行する」		
投票 		

討議テーマ	とやまの価値を再発見しよう！	
グループ(9)	グループ名	きときとカラフル
付箋貼り付けスペース〔議題Ⅰ〕 「あなたにとってのとやまだけがもつ魅力とは？」 ●自然 ・自然がたくさん ・公園が多い ・立山の景色が綺麗 ●食 ・富山湾の恵み ・マスずし ・梨がおいしい ●まち ・高層ビルが無いので空が広い ・路面電車 ・コンパクトシティ ●文化 ・ガラス細工 ・八尾のおわら ・お祭りの文化 ●人 ・行政と市民の距離が近い ・横のつながりが強い ・優しい人が多い ・富山弁 ・ニュースが平和 ●産業 ・大きな会社が多い(製造業・医薬品)・電気代が安い	議題Ⅰ-まとめ 立山連峰や豊かな自然により、素晴らしい景観と豊富な海の幸や美味しいお米に恵まれている。 市街地は綺麗なまちづくりをしている。 市民は優しい方が多く、行政との距離が近い。 多くの市民が富山に愛着をもっている。 「何もない」ことで「ゆっくり」できる	
付箋貼り付けスペース〔議題Ⅱ〕 「とやまの魅力を市民にPRするには？」 ●SNS ・市民にPRするために、まず県外にPRする。ふるさと納税など ・有名なインフルエンサーを育てる ●まち・人 ・移住を多く受け入れる環境をつくる ・障害のある方や不登校の生徒への見方が温かくなるまににする ・多様な人が集まれるカフェをつくる ・多様な人が参加できるお祭りをつくる ・市をあげて「富山の休日」をつくる ・障がい者向けのカードなどを設置する店舗を増やす(ポイントカードありますか？、袋いりますか？などの口頭での質問に困る) ・子供の時から多様性に触れる機会、体験する機会が少ない(学校でいじめがある)	議題Ⅱ-まとめ ・市民にPRをするために、まず県外に富山の良さをPRして、外部から富山の魅力を高める(魅力の逆輸入) ・発信力のあるタレントやインフルエンサーからSNS発信。富山出身の芸能人の育成。 ・自分たちの良さを再発見できるような場所をつくる(多様な人が来る常設の体験施設やカフェ、お祭りのイベント) ・富山市の休日を作る(上記イベント実施)。	
まとめ 既に多くの市民はとやまに愛着をもっているが、まち全体として多様な人への理解や対応はまだできていない状況である。その解決のために私たちは富山の自然・食・伝統工芸を誰でも安価で体験できる常設の場所をつくることを起案し、そこに多様な人が集い、多様な人が働くダイバーシティカフェをオープンしたいと考えた。この場所を通していろいろな方と交流をするとともに、この場所を核として多様な人が参加できる「お祭り」などを企画したい。また、「富山市民の休日」をつくり、その際に上記のお祭りやイベントを行うことでみんながHAPPYとなる。市外や全国からも注目が集まることで、その結果市民全体として多様性の理解が進み、様々な運動が発生し、結果的には富山の価値を高めることとなる。		
投票 38票		

討議テーマ	とやまの価値を再発見しよう！	
グループ(10)	グループ名	四人四色
付箋貼り付けスペース〔議題Ⅰ〕 「あなたにとってのとやまだけがもつ魅力とは？」 ・自然豊か ・晴れた日の立山連峰 ・海も山もある ・住みやすい ・コンパクトシティ(前市長の肝入り施策) ・路面電車を活用したまちづくり ・勤勉な方、優しい方が多い ・懐に入れば良い方が多い ・富山弁 ・食べ物がおいしい ・豊かな水の恵み ・魚介類がおいしい ・地理的な優位性 ・自然災害が少ない	議題Ⅰ-まとめ ・海や山などの自然が豊か ・住みやすさ、人の良さ ・食べ物・水が美味しい	
付箋貼り付けスペース〔議題Ⅱ〕 「とやまの魅力を市民にPRするには？」 ・Youtube、Instagram、TikTokを使った広告 ・SNSでの発信 ・口コミ ・ショッピングモールでのイベント ・アプリなど ・悲観的にならずに富山について話す ・友達と富山で遊ぶ ・近所の方との交流をもつ ・郷土愛を育む教育	議題Ⅱ-まとめ ・SNSの発信 ・新聞、広報など従来の発信 ・富山県民の郷土愛を育てる 議題Ⅰで議論したとおり、富山には魅力がある。これらの魅力を伝える側(富山市民)が自信と誇り、郷土愛をもってPRしていくことが重要である。 SNSを駆使した発信もちろん必要だが、富山県には高齢者も多い点を考慮し、新聞やテレビ等の媒体を使った広報も継続していくことが必要。	
まとめ ・富山には良さがある！（自然、食べ物、人、住みやすさ） ・市民への情報発信（SNS、口コミ、広報、アプリ等） ・伝える側が自信を持つ！		
投票 18票		

2023 年 9 月吉日

各 位

富山市長 藤 井 裕 久

公益社団法人富山青年会議所
理 事 長 新 田 洋 太 朗

「とやま未来創造ミーティング 2023」の開催について（ご案内）

日頃から、市行政について格別のご理解をいただき、厚くお礼申し上げます。

このたび、富山市と公益社団法人富山青年会議所の共催により、「とやま未来創造ミーティング 2023」を開催いたします。

「とやま未来創造ミーティング 2023」は、まちづくりの課題や地域の身近なテーマについて市民の皆様にご議論していただき、市民主役のまちづくりの実現に向けた新しいスタイルの会議です。

今年のテーマは「とやまの価値を再発見しよう！」です。「あなたにとってのとやまだけがもつ魅力とは？」「とやまの魅力を市民に PR するには？」について議論いただきます。

皆様には、同封のチラシをご覧ください、是非ご参加くださいますようお願いいたします。参加の可否につきましては、下記 QR コードより 10 月 6 日（金）までにご回答をお願いします。お電話でも受け付けております。お電話の際は、090-8701-9134（まちづくりプラットフォーム委員会直通）にご連絡下さい。



↑ 参加の可否入力用 QR コード

なお、本案内は富山市の住民基本台帳から無作為抽出した 18 歳以上の市民 2,000 名の皆様へ送付させていただいております。

（お問い合わせ先）

公益社団法人富山青年会議所
まちづくりプラットフォーム委員会直通
携 帯 090-8701-9134
電 話 076-461-6865

とやま未来創造 ミーティング 2023



テーマ

とやまの価値を再発見しよう！

日時

2023 **11月3日** 金・祝

開催時間 9:00~12:30 受付時間 8:30~

会場

Cafe 小馬キラリ店

富山県富山市西町5番1号 TOYAMAキラリ内

とやま未来創造ミーティング2023とは？

市民と行政との協同により「まちづくり」を考える市民協議会です。住民基本台帳から無作為抽出された市民が、少人数のグループに分かれ、議題ごとに必要な情報の提供を受けて、地域問題などの身近な問題をディスカッションします。全国の多くの市町村でも開催されており、富山でも2010年度より開催され、今年で14年目を迎えます。

AGENDA.1

あなたにとっての
とやまだけがもつ魅力とは？

AGENDA.2

とやまの魅力を市民にPRするには？

参加すると？

あなたの意見が富山市のまちづくりに反映されるかもしれません。
討議で集約された意見は、報告書にまとめます。
※当日の謝礼として些少ですが5,000円をお支払いします。

主催

富山市



Junior Chamber International TOYAMA
公益社団法人 富山青年会議所



とやまの価値を 再発見しよう！

AGENDA.1

あなたにとっての
とやまだけがもつ魅力とは？

AGENDA.2

とやまの魅力を
市民にPRするには？

この度、富山市と公益社団法人富山青年会議所の共催で
「とやま未来創造ミーティング2023」と題した市民討議会を開催いたします。
この討議会は、市民主体のまちづくりの実現に向け、市民の皆様にも、
まちづくりの課題について討議していただく新しいシステムです。
皆様が普段、とやまのまちについて感じていること、意見したいことなどを
この機会にお聞かせいただけないでしょうか？

前回の様子をこちらからご確認ください。
右記のQRコードを読み取ってアクセスしてください。



皆様には是非ご参加いただきたく、開催案内文の
参加の可否入力用QRコードより可否をお知らせください。
参加をご希望された皆様から厳正な抽選により
参加者を決定させていただきます。

参加決定の連絡は10月中旬に書面にてご連絡させていただきます。

- 参加者には当日の謝礼として、5,000円をお支払いいたします。
- 9:00から12:30までのすべてに参加できる方に限らせていただきます。
- 討議の様子は公開とさせていただきます、ご自由に見学できます。
内容報告についても後日、富山市役所のHPに掲載させていただきます。
- 会場までの交通費または駐車料金は自己負担になりますのでご了承ください。

※取得した個人情報は、本討議会の目的以外には利用しません。

当日のグループについて

定員

50名

1グループ**5名**とし、
10グループに分かれて
いただきます。



お問い合わせ先

公益社団法人 富山青年会議所 (担当：まちづくりプラットフォーム委員会)

TEL.090-8701-9134(直通) 076-461-6865 FAX.076-461-6866

E-mail: info@toyamajc.or.jp HP: www.toyamajc.or.jp

富山市商工労働部
商工労政課商工業振興係

TEL.076-443-2070 FAX.076-443-2183



